

／まなぼうさい／ Vol.83 「●」 防災センター通信

台風や大雨のシーズン
到来 ～大雨に備える～

毎年のように台風や大雨（豪雨）による被害が発生しています。こうした自然災害から命を守るために防災情報と避難についてもう一度確認して、災害に備えましょう。

■ 災害情報の種類

◎警戒レベル・気象情報（警報）・避難情報・取るべき避難行動を知っておきましょう。

テレビやラジオなどの気象情報に十分注意してください。また、気象庁や町が発表する警戒レベルや避難情報にも注意して取るべき行動を確認してください。（令和8年5月29日から気象情報の名称や発表基準などが変更されています。気象情報について詳しくは、町広報6月号をご確認ください。）

■ ためらわずに早めの避難を

◎暗くなる前、道路が冠水する前に避難しましょう。移動時間を考えて早めに自主避難することが大切です。

◎危険を感じたらすぐ避難しましょう。

猛烈な大雨で屋外スピーカーの避難情報が聞き取れなかったり、突然の大雨で避難情報が遅れたりすることがあります。危険を感じたらすぐに逃げる自主避難が大切です。

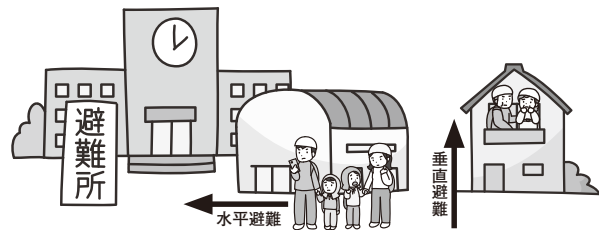
土砂災害等の危険がある地域にお住まいの方は、氾濫危険警報や土砂災害危険警報が発表されたら、安全な場所にすぐに避難しましょう。

■ 移動が危険なときは垂直避難を

◎夜間に避難所へ避難（水平）することは避けましょう。

夜間は見通しが悪く、側溝などが見えなくなり、大雨が降っているとさらに見通しが悪くなり危険です。

土砂災害の多くは1階で被災しています。夜間の見通しの悪い時や、道路が冠水している時は、自宅の2階などへ「垂直避難」も考慮しましょう。



お問合せ 防災センター ☎0738-24-9280

なかつ地域子育て支援センター のびのび広場『夏祭りごっこ』

- 日時：令和8年8月27日（木）10:00～11:00
- 場所：健康管理センター
- 内容：夏祭りのお店屋さんごっこをして楽しみましょう
- 対象：中津・美山地区の1歳以上未就園児親子
- 令和8年8月20日（木）までになかつ地域子育て支援センターへお問い合わせください。

お問合せ なかつ地域子育て支援センター
（なかつ保育所内）☎0738-24-9330

かわべ地域子育て支援センター かわべほのぼのルーム 『ベビーマッサージ』

（湯峯有香先生）

- 日時：令和8年8月5日（水）10:00～11:00
- 場所：かわべ地域子育て支援センター室内
- 対象：未就園児親子（1歳前後のお子様対象）
- ※かわべ地域子育て支援センターへお申し込みください。

お問合せ かわべ地域子育て支援センター
（かわべ保育所内）☎080-9941-7320

広告

紀州新聞は購読料

（1ヵ月）税込 2,000円

※郵送の場合は別途

紀州新聞社

御坊市島172 ☎0738(22)2536(代)

広告

OTERA
MAE
RESTAURANT
ANCHIN
since 1973

会席料理・ランチ・鍋料理・仕出し弁当
テイクアウト・デリバリー ご相談下さい

お食事処
道成寺
参道沿い

あんちん

あんちん別邸

石蔵（いしくら）

【お問い合わせ】 TEL 0738-22-2964 日高川町鐘巻1745-3

こんにちは！ 地域包括支援センターです。 地域包括支援センターではこんなことを行っています。

「ご相談ください」 主任ケアマネジャー、保健師、社会福祉士などが相談を受け、連携して皆様を支援しています。

介護や健康のこと

- ・介護保険を申請したい。
- ・介護予防をして健康を維持したい。
- ・身体機能に不安がある。



様々な相談

- ・一人暮らし、高齢夫婦の親が心配。
- ・認知症について知りたい。
- ・近所の一人暮らしの高齢者が心配。



権利を守ること

- ・財産管理ができず困っている。
- ・成年後見人制度を利用したい。
- ・虐待を受けた、または、虐待してしまった。



暮らしやすい 地域のために

- ・地域のケアマネジャーの後方支援をします。
- ・様々な機関と連携して地域づくりを行います。



地域包括支援センターは高齢者の皆様が住み慣れた地域で安心した生活を続けられるよう支援を行います。

お問合せ・お申込み 保健福祉課・地域包括支援センター ☎0738-22-9633 FAX 0738-32-7266

「ふるさと納税でまちを元気に！」をキャッチフレーズに、PR活動や新たな返礼品の掘り起こしを任務とする地域おこし協力隊に着任し、早くも4か月が経ちました。

着任した頃は桜が咲いていましたが、気がつけば季節は春から夏へ。日高川町での毎日を充実して過ごしています。

親戚な近隣住民の方々と交流、役場職員の皆さんとの日々の業務。家の前を流れる日高川と山々の風景、サルやシカ、イノシシなどの野生動物との遭遇（農家の皆さんにとっては頭の痛い存在ですね）。

さらには、初夏に舞うホタルの観察、寒川でのアユ釣り（まだ一匹も釣れていませんが、この広報誌が皆様のお手元に届く頃には大漁となっている？……はず

です）など、挙げればキリがないほど、新鮮な発見と感動の連続です。

こう言うと、「単身移住生活を思い切り楽しんどのな」と思われるかもしれませんが、すべてが順風満帆というわけではありません。結婚して28年。掃除や洗濯、炊事などの家事全般を妻には任せきりにしてきました。休日にはそこそこ手伝ってきたつもりでしたが、自分しかやる人がいない生活は想像以上でした。かつて子どもたちが一人暮らしを始めた頃、「お母さんのありがたさが分かった」と話していた意味を、遅ればせながら身をもって知ることになりました。

暮らしを楽しむ一方で、任務でも多くの学びがあります。

生産者の皆さんと対話を重ねる中で、実際に生産現場を案内していただく機会にも恵まれています。栽培（加工）へのこだわりや日々の苦労、将来への思いなど、「生の声」に触れるたび、この町にはまだまだ知られていない魅力が数多くあることを実感しています。

これからも、一つ一つの出会いを大切にしながら、皆様とともに日高川町の魅力を全国へ発信し、ふるさと納税を通じて地域に元気を届けられるよう努めてまいります。



イベントで日高川町をPR!



諸木 毅

地域の活性化や農林漁業の応援など地域協力活動を行っている「地域おこし協力隊」の活動の様子をお知らせします。

日高川町地域おこし Vol. 94 協力隊通信



お問合せ 企画政策課
☎0738-22-2041